

第3・4学年国語科学習指導案

日 時 平成21年9月30日(水) 5校時
場 所 3・4年教室
児 童 3年 男子1名 女子0名 計1名
4年 男子3名 女子1名 計4名
授業者 大坂下 慶智

第3学年

- 1 単元名 大事なことを確かめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物がかせになろう」

2 単元について

(1) 教材観

第3学年及び第4学年における「読むこと」の目標は、「目的に応じ内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら、読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

また、説明的な文章の解釈に関する指導事項として「目的に応じて中心となる語や文をとらえるなどして段落相互の関係を押さえることや、事実と意見との関係を考えて読むこと」が示されている。

本教材は、納豆や醤油などの身近な食べ物が、どれも大豆という同じ植物の種からできているという子どもにとって意外な事実が述べられている。

「初め」に問題提示がされ、「中」では「いろいろ手をくわえておいしく食べる工夫」が書かれ、「終わりに」に筆者の考えが書かれているため、非常に分かりやすい文章構成になっている。文中の接続語や「くふう」など重要語句を手がかりに読む活動を行うことで、確かな読みの力を育成することのできる教材である。

(2) 児童観

児童は、国語の学習に対して意欲的に取り組んでいる。3年上「ありの行列」の学習で、重要語句や接続語をもとに段落ごとの内容を読み取る学習を行った。その際、重要語句や中心文にサイドラインを引き、それをもとにワークシートに段落ごとの内容をまとめることができるようになってきている。しかし、自力で重要語句や、接続語を見つける作業に時間がかかり、一人学びの中で段落の内容をおおまかに読み取る力が十分とは言えない。

児童N・Yは性格的に明るく学習に一生懸命であるが音読に時間がかかり、語彙も少なく、自分の感想や考えを持つことが苦手である。

第4学年

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」
「四年三組から発信します」

2 単元について

(1) 教材観

第3学年及び第4学年における「読むこと」の目標は、「目的に応じ内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら、読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

また、説明的な文章の解釈に関する指導事項として「目的に応じて中心となる語や文をとらえるなどして段落相互の関係を押さえることや、事実と意見との関係を考えて読むこと」が示されている。

本教材は、身近なメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものであり、児童にとって親しみやすく、実際に確かめることも容易である。アップとルーズについてサッカー試合の放送を例に挙げ、対照的に分かりやすく述べられている。写真と文章を対応させて読みながら、対照的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえたり重要語句を見つけながら段落ごとの要約をしたりして読む活動を行うことで、確かな読みを育成することができる教材である。

(2) 児童観

児童は、国語に対する意欲は比較的高い。4年上「かむことの力」では、指示語や接続語、重要語句をもとに一人学びを進め、学び合いでは、国語リーダーを中心に読み取った段落の内容を交流することができた。しかし、音読はすらすらできていても、内容の読み取り、段落相互の関係をつかむ力が十分とは言えない。

児童N・Kは音読にはすらすらできるが、重要語句、接続語を手がかりに段落の内容を読み取る力が十分とは言えない。児童S・Rは、自分の考えに自身が持てず、積極的な発言ができず、他の児童の意見に流されてしまうことが多い。

(3) 指導観

指導にあたって「つかむ」段階では、読み取りに入る前に十分に音読に取り組み、大まかな内容をとらえたうえで指導に入る。また、実物の大豆や、大豆の加工食品なども提示して大豆に対する興味も持たせていきたい。学習の見通しをもたせるために、教材文の内容をおおまかにつかませ、「ふかめる」段階につなげていきたい。

「ふかめる」段階では、文章全体の構成をとらえる」という目的意識をもたせながら、読み取りを進めていく。その際、重要語句や中心文、指示語、接続語、文末表現に注意させながら読み取りを進め、読みの視点に沿った読み取りの力を身に付けさせたい。一人学びでは、大豆をおいしく食べる工夫や大豆を加工した食品などにサイドラインを引いてワークシートにまとめさせていく。その学習を通して段落に書かれている内容をしっかりととらえさせたい。

「まとめる」段階では、重要語句や中心文をもとに小見出しをつける学習を通して、内容を大きくまとめながら読む力を身に付けさせたい。

「ひろげる」段階では、しらべたい事柄を選び出す、書き出す、文章にまとめるなど細かく段階をふみながら、情報発信の学習をすすめていきたい。

(3) 指導観

指導にあたって「つかむ」段階では、読み取りに入る前に十分に音読に取り組み、大まかな内容をとらえたうえで指導に入る。また、題名やリード文から、学習全体の見通しをもたせ、目的意識をもって学習に臨ませたい。文章を3つの大きなまとまりに分け、「ふかめる」段階での自主的な読み取りにつなげていきたい。

「ふかめる」段階では、「文章全体の構想をとらえ文章を簡単にまとめる」という目的意識をもたせながら、段落ごとに内容を読み取らせたり、大きなまとまりごと段落と段落のつながりをとらえさせたりしていきたい。また、指示語や接続語、重要語句にも着目させながら読み取りを進めていきたい。一人学び、学び合いでは、アップとルーズの特徴や長所・短所が書かれている言葉などにサイドラインを引かせてノートにまとめる学習を通して、各段落の内容をしっかりと読み取らせたい。

「まとめる」段階では、段落の小見出しをつけたり、大きなまとまりに大見出しをつけたりしながら、文章全体の構成をつまませたい。

「ひろげる」段階では、アップやルーズの効果を考えながら相手意識や目的意識をもたせながら情報発信の学習をすすめていきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・身近な食べ物について知識をえると共に、興味を広げようとする。

【書くこと】

- ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりする。(1) ア
- ・書こうとすることの中心文を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して、調べた内容を事柄ごとに書いている。(1) ウ

【読むこと】

- ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。(1) イ
- ・内容を大きくまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら読む。(1) エ

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。(1) イ(ク)

(2) 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・食べ物はかせになるために、食べ物に興味をもち、教材や読み物・図鑑などを進んで読んだり、調べたことを文章にまとめたりしようとしている。

【書くこと】

- ・身近な食べ物の物について、情報を収集したものを選択し、書こうとすることの中心を明確にしながら段落の続き方に注意して書いている。

【読むこと】

- ・大きく内容をまとめたり、必要な細かい点に注意したり、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えたりしながら、大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・接続語や指示語に気をつけて読み取ったり、初め・中・終わりの文章構成で書いたりしている。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・対比・まとめなど、段落相互の関係気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味を持とうとする。

【書くこと】

- ・取材したことがらを相手に応じて分りやすく書いて知らせることができる。(1) ウ
- ・書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(1) ア

【読むこと】

- ・それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。(1) イ
- ・写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。(1) エ

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使うことができる。(1) イ(ク)

(2) 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読みに分りやすい文章を書こうとしている。

【書くこと】

- ・取材したことを相手に応じて分りやすい言葉を使って書いたり、相手や目的に応じて必要な材料を集めたり選択している。

【読むこと】

- ・それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているかとらえている。
- ・アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読んでいる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・段落の中心やつながり方に気をつけて文章を読み段落のまとめりと役割を理解してとらえている。

第3・4学年国語科学習指導案

日 時 平成21年9月30日(水) 5校時
場 所 3・4年教室
児 童 3年 男子1名 女子0名 計1名
4年 男子3名 女子1名 計4名
授業者 大坂下 慶智

第3学年

- 1 単元名 大事なことを確かめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物がかせになろう」
- 2 単元について

(1) 教材観

第3学年及び第4学年における「読むこと」の目標は、「目的に応じ内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら、読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

また、説明的な文章の解釈に関する指導事項として「目的に応じて中心となる語や文をとらえるなどして段落相互の関係を押さえることや、事実と意見との関係を考えて読むこと」が示されている。

本教材は、納豆や醤油などの身近な食べ物が、どれも大豆という同じ植物の種からできているという子どもにとって意外な事実が述べられている。

「初め」に問題提示がされ、「中」では「いろいろ手をくわえておいしく食べる工夫」が書かれ、「終わりに」に筆者の考えが書かれているため、非常に分かりやすい文章構成になっている。文中の接続語や「くふう」など重要語句を手がかりに読む活動をすることで、確かな読みの力を育成することのできる教材である。

(2) 児童観

児童は、国語の学習に対して意欲的に取り組んでいる。3年上「ありの行列」の学習で、重要語句や接続語をもとに段落ごとの内容を読み取る学習を行った。その際、重要語句や中心文にサイドラインを引き、それをもとにワークシートに段落ごとの内容をまとめることができるようになってきている。しかし、自力で重要語句や、接続語を見つける作業に時間がかかり、一人学びの中で段落の内容をおおまかに読み取る力が十分とは言えない。

児童N・Yは性格的に明るく学習に一生懸命であるが音読に時間がかかり、語彙も少なく、自分の感想や考えを持つことが苦手である。

第4学年

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」
「四年三組から発信します」
- 2 単元について

(1) 教材観

第3学年及び第4学年における「読むこと」の目標は、「目的に応じ内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら、読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

また、説明的な文章の解釈に関する指導事項として「目的に応じて中心となる語や文をとらえるなどして段落相互の関係を押さえることや、事実と意見との関係を考えて読むこと」が示されている。

本教材は、身近なメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものであり、児童にとって親しみやすく、実際に確かめることも容易である。アップとルーズについてサッカー試合の放送を例に挙げ、対照的に分かりやすく述べられている。写真と文章を対応させて読みながら、対照的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえたり重要語句を見つけながら段落ごとの要約をしたりして読む活動をすることで、確かな読みを育成することができる教材である。

(2) 児童観

児童は、国語に対する意欲は比較的高い。4年上「かむことの力」では、指示語や接続語、重要語句をもとに一人学びを進め、学び合いでは、国語リーダーを中心に読み取った段落の内容を交流することができた。しかし、音読はすらすらできていても、内容の読み取り、段落相互の関係をつかむ力が十分とは言えない。

児童N・Kは音読にはすらすらできるが、重要語句、接続語を手がかりに段落の内容を読み取る力が十分とは言えない。児童S・Rは、自分の考えに自身が持てず、積極的な発言ができず、他の児童の意見に流されてしまうことが多い。

(3) 指導観

指導にあたって「つかむ」段階では、読み取りに入る前に十分に音読に取り組み、大まかな内容をとらえたうえで指導に入る。また、実物の大豆や、大豆の加工食品なども提示して大豆に対する興味も持たせていきたい。学習の見通しをもたせるために、教材文の内容をおおまかにつかませ、「ふかめる」段階につなげていきたい。

「ふかめる」段階では、文章全体の構成をとらえる」という目的意識をもたせながら、読み取りを進めていく。その際、重要語句や中心文、指示語、接続語、文末表現に注意させながら読み取りを進め、読みの視点に沿った読み取りの力を身に付けさせたい。一人学びでは、大豆をおいしく食べる工夫や大豆を加工した食品などにサイドラインを引いてワークシートにまとめさせていく。その学習を通して段落に書かれている内容をしっかりとらえさせたい。

「まとめる」段階では、重要語句や中心文をもとに小見出しをつける学習を通して、内容を大きくまとめながら読む力を身に付けさせたい。

「ひろげる」段階では、しらべたい事柄を選び出す、書き出す、文章にまとめるなど細かく段階をふみながら、情報発信の学習をすすめていきたい。

3 単元目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・身近な食べ物について知識をえると共に、興味を広げようとする。

【書く能力】

- ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。(1) ア
- ・書こうとするものの中心文を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して、調べた内容を事柄ごとに書くことができる。(1) ウ

【読む能力】

- ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(1) イ
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。(1) エ

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。(1) イ (ク)

(3) 指導観

指導にあたって「つかむ」段階では、読み取りに入る前に十分に音読に取り組み、大まかな内容をとらえたうえで指導に入る。また、題名やリード文から、学習全体の見通しをもたせ、目的意識をもって学習に臨ませたい。文章を3つの大きなまとまりに分け、「ふかめる」段階での自主的な読み取りにつなげていきたい。

「ふかめる」段階では、「文章全体の構想をとらえ文章を簡単にまとめる」という目的意識をもたせながら、段落ごとに内容を読み取らせたり、大きなまとまりごと段落と段落のつながりをとらえさせたりしていきたい。また、指示語や接続語、重要語句にも着目させながら読み取りを進めていきたい。一人学び、学び合いでは、アップとルーズの特徴や長所・短所が書かれている言葉などにサイドラインを引かせてノートにまとめる学習を通して、各段落の内容をしっかりと読み取らせたい。

「まとめる」段階では、段落の小見出しをつけたり、大きなまとまりに大見出しをつけたりしながら、文章全体の構成をつまませたい。

「ひろげる」段階では、アップやルーズの効果を考えながら相手意識や目的意識をもたせながら情報発信の学習をすすめていきたい。

3 単元目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・対比・まとめなど、段落相互の関係気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味を持つようとする。

【書く能力】

- ・取材したことがらを相手に応じて分りやすく書いて知らせることができる。(1) ウ
- ・書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(1) ア

【読む能力】

- ・それぞれの段落が全体の中でどのような役割をはたしているかを考えながら読むことができる。(1) イ
- ・写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。(1) エ

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使うことができる。(1) イ (ク)

4 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・食べ物がかせになるために、食べ物に興味をもち、教材や読み物・図鑑などを進んで読んだり、調べたことを文章にまとめたりしようとしている。

【書く能力】

- ・身近な食べ物の物について、情報を収集したものを選択している。 (1) ア
- ・書こうとすることの中心を明確にしなが段落の続き方に注意して書いている。 (1) ウ

【読む能力】

- ・大きく内容をまとめたり、必要な細かい点に注意したりしながら読んでいる。 (1) エ
- ・中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えたりしながら、大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。 (1) イ

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・接続語や指示語に気をつけて読み取ったり、初め・中・終わりの文章構成で書いたりしている。 (1) イ (ク)

4 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手に分かりやすい文章を書こうとしている。

【書く能力】

- ・取材したことを相手に応じて分かりやすい言葉を使って書いている。 (1) ウ
- ・相手や目的に応じて必要な材料を集めている。 (1) ア

【読む能力】

- ・それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているかとらえている。 (1) イ
- ・アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読んでいる。 (1) エ

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・段落の中心やつながり方に気をつけて文章を読み段落のまとまりと役割を理解してとらえている。 (1) イ (ク)

4 単元の指導計画 <3年生> (18時間)

具体的評価規準 (方法)	学 習 活 動	目 標	時	段階
	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書をする。 ・音読練習をする。 		0	つかむ
<ul style="list-style-type: none"> ・大豆を使った食品について興味を持っている。 <p>【関】(観察・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み感想を持つ。 ・題名読みをする。 ・形式段落に番号をつける。 ・新出漢字・語句を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆を使った食品について興味を持って見つけることができる。 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめ・中・終わりの文章構成を、接続語等に注目しながら考えている。 <p>【読】(観察・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの大体的内容から文章の構成をつかむ。 ・話題提示された内容から、学習課題をもつ。 ・図書館を利用しながら自分も情報発信することを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめ・中・終わりの文章構成に注目して読み取ることができる。 	2	
<ul style="list-style-type: none"> ・大豆がすがたをかえる訳を読み取っている。 <p>【読】(ワークシート・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書をする。 ・①②段落から、大豆がいろいろな食品に姿を変えていることや、なぜ、おいしく食べるくふうがされているのかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆がすがたをかえるわけを読み取ることができる。 	0	ふかめる
<ul style="list-style-type: none"> ・やわらかくおいしくする、こなにひく、違う食品にする工夫を読み取っている。 <p>【読】(ワークシート・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・③～⑤段落から、大豆をおいしく食べる工夫を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やわらかくおいしくする、こなにひく、違う食品にする工夫を読み取ることができる。 	3	
<ul style="list-style-type: none"> ・小さな生物の力で違う食品にしたり、取り入れ時期や育て方を工夫したりすることを読み取っている。 <p>【読】(ワークシート・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第⑥⑦段落から、小さな生物の力をかりてちがう食品にする工夫や取り入れ時期や育て方を工夫することを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな生物の力で違う食品にしたり、取り入れ時期や育て方を工夫したりすることを読み取ることができる。 	4	
<ul style="list-style-type: none"> ・接続語に着目してまとめの文を見つけたり、「～から」「～ため」に着目して理由を確かめたりしている。 <p>【読】(ワークシート・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第⑧⑨段落から、文章のまとめや筆者の考えを読み取る。 ・各段落に小見出しをつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語に着目してまとめの文と筆者の考えを読み取ることができる。 	5	本時
<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点から、説明的文章の文章構成を確かめている。 <p>【読】(ワークシート・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点を振り返り、文書の組み立てを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点から、説明的文章の文章構成を確かめることができる。 	6	
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食べ物に興味をもち、調べたい食べ物を決め、学習計画を立てる。 <p>【関】(発言・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「食べ物がかせになろう」を読み、学習の見通しをもつ。 ・理由を明確にしながら、調べたい食べ物を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食べ物に興味をもち、見通しをもって調べたい食べ物を決めることができる。 	7	まとめる
<ul style="list-style-type: none"> ・書こうとする内容について、段落を意識しながら、カードに書き込んでいる。 <p>【書】(カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本での調べ方を知り、自分が決めたことについて調べ、カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書こうとする内容について、段落を意識しながら、カードに書き込むことができる。 	8	
<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を考えながら、書こうとする中心をはっきりさせて段落ごとに書いている。 <p>【書】(カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カードをもとに調べたことを整理する。 ・まとめたことを自己評価・相互評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を考えながら、書こうとする中心をはっきりさせて段落ごとに書くことができる。 	9	ひろげる
<ul style="list-style-type: none"> ・互いの文章に関心をもち、よさを見つけ評価し合っている。 <p>【関】(発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・相互評価をもとに、推敲し、清書する。 ・互いの文章を読み合い、評価し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの文章に関心をもち、よさを見つけることができる。 	10	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを活用し、食べ物に関する本を読む。 ・漢字練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを活用し、進んで本を読むことができる。 	11	
			12	
			13	
			14	
			15	
			16	
			17	
			18	
			0	

4 単元の学習計画 <4年生> (18時間)

段階	時	目標	学習活動	具体的評価規準(方法)
つかむ	0		<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書をする。 ・音読練習をする。 	
	1	・アップとルーズという言葉に関心をもち、意味を確かめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み感想を持つ。 ・題名読みをする。 ・形式段落に番号をつける。 ・新出漢字・語句を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズという言葉に関心をもち、意味を確かめようとしている。 <p>【関】(観察・ワークシート)</p>
	2	・文章構成をつかみ、段落の役割をおおまかにつかむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を確かめ、読み取りの見通しをもつ。 ・図書館を利用しながら自分も情報の発信者になることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成をつかみ、段落の役割をおおまかにつかんでいる。 <p>【読】(発言・観察)</p>
ふかめる	0		<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書をする。 	
	3	・写真と文章を対比させながら、アップとルーズの意味や問題提示文を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・①～③段落から、「アップ」と「ルーズ」の意味を確かめる。 ・どのような問題が提示されているか読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章を対比させながら、アップとルーズの意味や問題提示文を読み取っている。 <p>【読】(ワークシート)</p>
	4	・アップとルーズの長所と短所を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・④⑤段落から、「アップ」と「ルーズ」のそれぞれで伝えられることと伝えられないことがあることを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの長所と短所を読み取っている。 <p>【読】(ワークシート)</p>
5	・アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることや筆者の考えを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第⑥⑦⑧段落から、「アップ」と「ルーズ」は相手や目的に応じて使い分けられていることを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることや筆者の考えを読み取っている。 <p>【読】(ワークシート)</p>	
まとめる	6	・各段落が、文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落に小見出しをつける。 ・意味段落ごとに大見出しをつけて段落構成を図にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落が、文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえている。 <p>【読】(ワークシート)</p>
	7	・段落の役割を考えながら、教材文を要約することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文全体の内容をまとめ、次時の活動内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの段落の役割を考えながら、教材文を要約している。 <p>【読】(ワークシート)</p>
ひろげる	8	・「四年三組から発信します」を読み、学習の見通しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「四年三組から発信します」を読み、学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「四年三組から発信します」では、どのような学習活動をするのかを考えようとしている。 <p>【関】(発言・観察)</p>
	9	・メモと完成作品との違いや工夫を知り、自分の作品に生かすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書作例を見て、メモと完成した作品の違いや工夫について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモと完成作品との違いや工夫を知り、自分の作品に活かそうとしている。 <p>【関】(発言・観察)</p>
	10	・目的や相手に応じて、イメージをもち、必要な材料を集めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について話し合い、自分たちのまとめ方のイメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や相手に応じて、イメージをもち、必要な材料を集めている。
	11		<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げる題材を決め、取材する。 	<p>【書】(ワークシート・観察)</p>
	12			
	13	・目的や相手に応じて、必要な材料を選び、記事を書いたり、割り付けたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を選び、記事を書いたり、割り付けをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や相手に応じて、必要な材料を選び、記事を書いたり、割り付けたりしている。 <p>【書】(ワークシート)</p>
	14			
	15	・伝えたいことが相手に分かるように、言葉や表現を考えて書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きをし、互いに読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが相手に分かるように、言葉や表現を考えて書いている。 <p>【書】(ワークシート)</p>
	16			
	17	・よりよい作品を作ろうと清書し、他の作品のよさをすすんで見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・清書して仕上げる。 ・互いのよさについて伝えあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい作品を作ろうと清書し、他の作品のよさをすすんで見つけ評価し合っている。 <p>【関】(発言・観察)</p>
18				
0	・学習したことを活用し、進んで本を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを活用し、情報の選び方・使い方の本を読む。 ・漢字練習をする。 		

6 本時の展開（3年）（5／18）

(1) 目標

- 小さな生物の力で違う食品にしたり、取り入れ時期や育て方を工夫したりすることを読み取ることができる。【読】

(2) 研究との関わり

- ・視点1 大豆をおいしく食べる工夫についてサイドラインを引き、ワークシートに書く。
- ・視点2 一人学びの手引きを活用し、見通しを持って学習する。

(3) 展開

6 本時の展開（4年）（4／18）

(1) 目標

- アップとルーズの長所・短所やそれぞれの段落の役割を読み取ることができる。【読】

(2) 研究との関わり

- ・視点1 アップとルーズの長所・短所にサイドラインを引き、ワークシートに要点を書く。
- ・視点2 学習リーダーが中心となり、それぞれの考えを交流する。

(3) 展開

指導上の留意点(・)と具体的評価基準◎	学習活動	展開	学習活動	指導上の留意点(・)と具体的評価基準◎
<ul style="list-style-type: none"> ・大豆の特徴を読み取ったことを想起させながら本時の学習につなげる。 ・単元の計画で設定した課題を確認させる。 ・課題を意識させ本時の学習内容を音読する。 	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大豆に手をくわえ、おいしくする工夫を読み取ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題をノートに書く。 ・学習内容を音読する。(⑥、⑦) 	つ つ か か む む 五 分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アップとルーズの伝えられること、伝えられないことについて読み取ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題をノートに書く。 ・重要語句、接続語を確認する。 ・一人学びの手順を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの特徴を読み取ったことを想起させながら、本時の学習につなげる。 ・単元の計画で設定した課題を確認させる。 ・重要語句「分かりません」「分ります」接続語「しかし」「でも」を確認する。 ・一人学びの手順を確認させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人学びの手引きで確認させる。【視点2】 ・重要語句「くふう」を線で囲ませる。 ・見つけられない場合は、重要語句「くふう」に着目させる。 ・「くふう」についてワークシートに書かせる。【視点1】 ・「なっとう」「みそ」「しょうゆ」「枝豆」「もやし」について工夫を確かめる。 ・具体物を用いて視覚的に確かめる。 ・⑥、⑦段落の要点を、自分の言葉でワークシートにまとめさせる。 ・重要語句をもとに、本時の学習場面をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎大豆に手を加え、おいしくする工夫について読み取ることができる。【読イ】 (ワークシート・発言)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で学習した内容や、考えたことを大切にしながら音読することを意識させる。 	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 一人学びをする。①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人学びの手順を確認する。 ・重要語句「くふう」を線で囲む。 ・「くふう」が書かれている文にサイドラインを引く。 ・工夫について読み取る。 ・工夫をワークシートに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">⑥一目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にする工夫もある。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">⑦とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もある。</div> <p>(2) 読み深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆に手を加えおいしくする工夫について読み深める。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆に手を加えおいしくする工夫について読み取ったことをワークシートに書き込む。 ・⑥・⑦段落の工夫についてまとめる。 ・読み取って思ったことや考えたことを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(例) 大豆をおいしく食べるくふうは、さらに目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にする工夫もある。これらほかにとり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もある。 大豆をおいしく食べる工夫がたくさんあることを知りました。</div> <p>5 まとめを音読をする。</p>	ふ ふ か か め め る る 三 三 分 分	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 一人学びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を音読する。(④、⑤) ・アップとルーズの長所と短所を読み取る。 ・中心文にサイドラインを引く。 ・サイドラインを引いた中心文をワークシートに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">④アップでとると、細かい部分が良くわかる。しかし、走っている選手以外のうつさされていない多くの部分のことはアップではわからない。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">⑤ルーズでとると広いはんいのよすがよく分る。でも各選手の顔つきや視線それから感じられるきもちまではよく分らない。</div> <p>(2) 学び合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人学びでワークシートにまとめた自分の考えを出し合う。 <p>(3) 読み深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの長所と短所を読み深める。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの長所と短所についてまとめる。 ・自分の活動に活かそうなことを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(例) アップは細かい部分の様子はよくわかるが、うつさされていない多くの部分のことは分からない。 ルーズは、広いはんいの様子はよ分かるが、各選手の顔つきや視線、気持ちまでは分からない。 アップやルーズの写真を上手に使用って新聞を作りたいと思いました。</div> <p>5 まとめを音読をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心文が見つけられない子どもには、重要語句「分かります」「分かりません」、接続語「しかし」「でも」「このように」に着目させる。 ・中心文をワークシート書かせる。【視点1】 ・国語学習リーダーが中心となり、各段落の中心文を発表する。【視点2】 ・自分達の考えを発表してまとめる。 ・写真と文章を対応させながら読み深める。 ・重要語句をもとに、本時の学習場面をまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎アップとルーズの違いを読み取ることができる。【読イ】 (ワークシート・発言)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で学習した内容や、考えたことを大切にしながら音読することを意識させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・4年生へ本時のまとめと感想を発表させる。 	<p>6 4年生と本時の学習内容を交流する。</p> <p>7 次時の内容を確認する。</p>	ま ま と と め め る る 七 七 分 分	<p>6 3年生と本時の学習内容を交流する。</p> <p>7 次時の内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生へ本時のまとめと感想を発表させる。

7 板書計画

< 3年 >

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

大豆に手をくわえ、おいしくする工夫を読み取ろう。

手がかり

- ・くふう

⑦	⑥	段落
とり入れる時期や育て方を工夫くふう。	目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。	おいしく食べるくふう
えだ豆 もやし	なつとう みそ しょうゆ	食品
写真	写真	

大豆をおいしく食べる工夫は、さらに目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもある。これらのほかに取り入れる時期や育て方をくふうした食べ方もある。

< 4年 >

アップとルーズで伝える

中谷 日出

アップとルーズの伝えられること、伝えられないことについて読み取ろう。

手がかり

文末表現

- ・よく分かります
- ・分かりません

②	①	
写真	写真	アップ
ルーズ 広いはんいの様子はよく分かる。	細かい部分の様子はよく分かる。	伝えられること
でも	しかし	
各選手の顔つきや視線、気持ちまでは分からない。	うっさされていなくて多くの部分のことは分からない。	伝えられないこと

アップは、細かい部分の様子はよく分かるが、うっさされていなくて多くの部分のことは分からない。
ルーズは、広いはんいの様子はよく分かるが、各選手の顔つきや視線、気持ちまでは分からない。